

妙経寺だより

令和二年お盆号
(令和二年七月)

本堂改修工事完了

檀信徒のみなさま、こんにちは。妙経寺副住職の滝澤です。

今年一月から進めてきた「妙経寺本堂改修工事」ですが、六月末をもって無事に完了することができました。工事中は、法事などのお経は客殿にて実施させていたなど、檀信徒のみなさまにはご迷惑をおかけいたしました。おかげ様で事故などもなく無事に終えることができました。

また、妙経寺本堂は「まや保育園の講堂」としての側面も持っているため、園児や保護者の方々が集まる場所としての利便性も考え、今の本



堂の形となりました。工事も終わり、これからまた心機一転で仏道に取り組んでいきます。コロナウイルス感染症の数も日に増えてしまっている状況です。くれない範囲でも無理のない範囲でお願いしたいのですが、改修後の本堂をまだご覧いただいていない方はぜひお参りに来ていただければと思います。

施餓鬼大法要 厳修しました

コロナウイルスが猛威を振るう中、今年のお施餓鬼法要は、「新盆の方を除き檀信徒各位の参列を自粛いただく」という形とさせていただきます。四日に無事厳修しましたので報告させていただきます。コロナウイルスの収束の心配が見えない中での苦肉の策でしたが、市内各御寺院のお上人方にもご出仕いただき盛大に執り行うことができました。

新しくなったばかりの本堂で、ソーシャルディスタンスを保ちながらのお経であったため、例年とはだいぶ様子の違うお施餓鬼となりましたが、お申込みいただいたお塔婆もお建てした上で皆さまの志す仏様のご供養が無事にできましたので、ホッとしています。



いのちに合掌

日蓮宗では、立正安国お題目結縁運動を展開しています。お互いを敬い合い、命の尊さに気付き、社会を明るくすることが運動の目的です。社会

尚、今年法要への参列を自粛いただいたこともあり、散田町の妙経寺墓地にお墓がある方のお塔婆に關しては、既にお寺の方で墓に建てさせていたただいておりますのでご了承下さい。



今後の行事に関して

ご心配されている方も多くいらっしゃるかもしれませんが、新型コロナウイルスの猛威は留まる心配がありません。当山としても、毎月一日のお経を四月より六月までは中止とし七月から再開しております。状況によりは八月も実施できるかどうか心配しております。もし八月一日のお経が中止となる場合は、八月分のお守りは七月下旬に郵送させていただきます。

また、十月にはお会式もごございますし、本来四月に開催予定だった身延大会も十月六日〜七日に延期となり予定されています。こういった行事も開催できるのか心配なところではございますが、とにかく安全を一番に考え、柔軟に対応していきたいと思っております。皆さまにもご理解ご協力いただけますようお願い致します。



日蓮聖人降誕800年